



2024年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2024年4月12日

配当支払開始予定日

2024年5月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の業績(2023年9月1日～2024年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	1,101	46.5	190	61.4	194	63.5	139	82.6
2023年8月期第2四半期	751	7.2	117	33.3	119	34.0	76	53.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	64.85	
2023年8月期第2四半期	35.51	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	8,383	5,447	65.0
2023年8月期	7,560	5,355	70.8

(参考)自己資本 2024年8月期第2四半期 5,447百万円 2023年8月期 5,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期		20.00		22.00	42.00
2024年8月期		22.00			
2024年8月期(予想)				22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,180	24.7	430	51.4	440	51.7	290	41.4	134.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期2Q	2,901,000 株	2023年8月期	2,901,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年8月期2Q	752,260 株	2023年8月期	752,260 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期2Q	2,148,740 株	2023年8月期2Q	2,148,740 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、一部に足踏み感がみられるものの、経済情勢は景気が緩やかに回復しており、個人消費やインバウンド需要を中心として経済活動の正常化が進んでおります。一方で、世界的な金融引き締め、長期化する海外情勢等の地政学リスクの影響によるサプライチェーンの混乱やエネルギー資源の高騰から、資材価格の更なる上昇など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、物価高による影響は受けたものの国内の個人消費は回復傾向にあり、業績は前年並みで推移しました。在庫の削減もひと段落したことで、新商品の開発、実店舗での販売、さらには自社ECサイトでの販売準備を進めて黒字化を目指し取り組んでおります。また、賃貸倉庫事業におきましては、引き続き稼働率は高く業績は底堅く推移しております。また、新倉庫（カワサキ貝塚テクノプラザ）も2024年1月に竣工し、稼働を開始しました。ホテル事業におきましては、2024年2月に客室の空調設備とバスルームのリニューアル工事が終わり、お客様に快適にお過ごしいただける環境が整いました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高が1,101,088千円（前年同期比46.5%の増加）、営業利益が190,039千円（前年同期比61.4%の増加）、経常利益が194,562千円（前年同期比63.5%の増加）、四半期純利益139,343千円（前年同期比82.6%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、売上高は299,131千円（前年同期比4.2%の増加）、営業損失が4,880千円（前年同期は営業損失1,828千円）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、2023年4月に稼働したカワサキテクノプラザに加えて2024年1月に竣工したカワサキ貝塚テクノプラザが稼働したことにより、増収増益となりました。その結果、売上高は665,323千円（前年同期比43.2%の増加）、営業利益は265,905千円（前年同期比122.4%の増加）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、お客様に快適にお過ごしいただけるよう施設のリニューアルを進めており、2024年2月に空調設備とバスルームの工事が完了しております。ホテルレイクアルスターは、宿泊、宴会、レストランの3部門が営業の柱となっており、南海本線泉大津駅前という立地を生かし、地域密着で取り組んでおります。なお、当第2四半期累計期間は、リニューアル工事に伴う費用が発生したこと等から、売上高は136,633千円、営業損失は70,985千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて319,819千円(40.6%)増加し、1,107,883千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が421,337千円増加し、商品及び製品が72,359千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて503,154千円(7.4%)増加し、7,276,002千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が491,482千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて227,083千円(49.4%)増加し、687,164千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が60,000千円、未払法人税等が55,087

千円、買掛金が23,965千円、その他が87,772千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて503,818千円(28.9%)増加し、2,248,823千円となりました。この主な要因は、長期借入金が424,440千円、資産除去債務が62,533千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて92,071千円(1.7%)増加し、5,447,897千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を139,343千円計上したものの、配当による減少47,272千円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて421,337千円(185.9%)増加し、647,961千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益194,562千円、減価償却費140,361千円、棚卸資産の増加額76,846千円、その他に含まれる未収入金の減少額157,743千円等により、当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは600,912千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出610,550千円があったこと等により、当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは616,755千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入600,000千円、長期借入金の返済による支出115,560千円、配当金の支払額47,272千円により、当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは437,167千円の収入となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,623	647,961
受取手形、売掛金及び契約資産	52,516	58,128
商品及び製品	218,264	290,623
原材料及び貯蔵品	30,005	34,493
その他	261,663	76,894
貸倒引当金	△1,009	△217
流動資産合計	788,064	1,107,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,500,831	3,992,313
機械装置及び運搬具（純額）	213,773	200,014
土地	2,571,366	2,571,366
その他（純額）	14,016	37,250
有形固定資産合計	6,299,988	6,800,945
無形固定資産	19,088	17,321
投資その他の資産	453,770	457,735
固定資産合計	6,772,847	7,276,002
資産合計	7,560,912	8,383,885

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,284	40,250
1年内返済予定の長期借入金	210,960	270,960
未払法人税等	17,015	72,103
賞与引当金	1,194	1,452
その他	214,625	302,398
流動負債合計	460,080	687,164
固定負債		
長期借入金	970,120	1,394,560
役員退職慰労引当金	6,716	8,216
資産除去債務	375,472	438,005
その他	392,696	408,041
固定負債合計	1,745,005	2,248,823
負債合計	2,205,085	2,935,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,800,805	4,892,877
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,355,826	5,447,897
純資産合計	5,355,826	5,447,897
負債純資産合計	7,560,912	8,383,885

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	751,547	1,101,088
売上原価	457,159	647,527
売上総利益	294,387	453,561
販売費及び一般管理費	176,636	263,521
営業利益	117,751	190,039
営業外収益		
受取手数料	1,118	849
受取家賃	996	600
補助金収入	-	4,191
為替差益	-	64
その他	1,694	1,378
営業外収益合計	3,809	7,083
営業外費用		
支払利息	2,074	2,560
その他	483	-
営業外費用合計	2,558	2,560
経常利益	119,002	194,562
特別損失		
固定資産売却損	1,285	-
特別損失合計	1,285	-
税引前四半期純利益	117,717	194,562
法人税、住民税及び事業税	37,359	72,074
法人税等調整額	4,053	△16,855
法人税等合計	41,412	55,218
四半期純利益	76,305	139,343

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	117,717	194,562
減価償却費	100,290	140,361
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△695	△792
賞与引当金の増減額 (△は減少)	351	258
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,600	1,500
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	2,074	2,560
為替差損益 (△は益)	△57	△12
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,285	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,723	△5,611
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△70,816	△76,846
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,190	23,965
その他	76,369	340,830
小計	228,384	620,774
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△1,877	△2,875
法人税等の支払額	△108,952	△16,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,555	600,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△398,452	△610,550
有形固定資産の売却による収入	227	-
無形固定資産の取得による支出	△2,654	-
差入保証金の差入による支出	△750	-
差入保証金の回収による収入	-	0
その他	-	△6,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,630	△616,755
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△108,840	△115,560
配当金の支払額	△64,482	△47,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,677	437,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157,338	421,337
現金及び現金同等物の期首残高	619,333	226,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	461,995	647,961

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	287,096	464,451	—	751,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	287,096	464,451	—	751,547
セグメント利益又は 損失(△)	△1,828	119,579	—	117,751

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	299,131	665,323	136,633	1,101,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	299,131	665,323	136,633	1,101,088
セグメント利益又は 損失(△)	△4,880	265,905	△70,985	190,039

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。